

地方公共団体における 地域・行政が抱える課題・悩み そして取組み

2015年 6月10日

自治体が抱える課題・悩み(1)

- ◆自治体が抱える課題・悩みについて、①地域・行政が抱える課題 ②データの課題の2種類に分類し、本イベントに参加いただく自治体に回答いただいた。
- ◆現時点で具体的な課題・悩みを挙げられないという回答をいただいた自治体には、本イベントが情報収集、情報共有の場となることを期待しております。

①地域・行政が抱える課題

(例：住民の問合せ対応、高齢化、交通・環境など各分野の課題)

②データの課題

(例：データの統合利用、公開のリスク、公開・流通に関する制度)

回答：町田市

①地域・行政が抱える課題

- 地域による年齢構成のアンバランス、団地の老朽化による建て替え等の検討

②データの課題

- 紙ベースの地図がまだ多くデータ化できておらず、また、データ化する際の基準の制定が必要である。

自治体が抱える課題・悩み(2)

回答：日野市

①地域・行政が抱える課題

■産業立地基盤の空洞化とその後の土地利用

- 経済・産業構造のグローバル化により、国内のものづくり基盤を支えてきた**工場の閉鎖や移転**が国内各地で起こっており、多摩地域でも自治体共通の課題になっている。
- 大規模な土地利用転換は雇用や税収等、地方財政基盤に大きな影響を与えるだけでなく、公共インフラや周辺と土地利用の調和等、様々な課題を引き起こす要因ともなっている。
- このような課題への対応については、今日では様々な社会的課題を踏まえた検討が必要とされており、行政は**長期的かつ複眼的な土地利用調整・開発誘導を行う事が必要**である一方で、**財政難から行政も十分な組織的対応が取れない自治体も多いのではないか。**

自治体が抱える課題・悩み(3)

回答：日野市

②データの課題

■ 厳格な作成基準がない

● データの種類にもよるが、公共の取り扱うデータなので地理情報標準等に基づき、一定のデータ精度やデータ作成にかかる諸元データのようなものも整備が必要だが、それが利活用の敷居を高くしてしまい、GISの利用普及が図れないのも本末転倒になってしまう。

● ただし、今後の運用管理やデータのオープン化、データの広域な連携等も考えると、やはりデータ作成標準のようなものも必要だという認識もあるので、どのような体制を取れば利用普及とデータの厳格管理が両立でき得るものかに迷いがある。

■ 統合型GISの構築に関わる組織内部での課題

● データの作成・所管部門は自部門のみのデータ開示を望む一方で他部門のデータ利用はしたいという意見も多く双方の意見に相違がある、他部門が必要とするデータの作成・管理についても自部門での必要性が生じない限り積極的でない。

● リテラシーの問題もあるが人員が削減される中では自課の本来業務を優先するという考え方もあり、上段から物を言うわけにも行かない。

自治体が抱える課題・悩み(4)

回答：豊島区

①地域・行政が抱える課題

豊島区は「日本一人口密度が高いまち（超高密都市）」であることから、高密都市ゆえの課題がある。

- 環境 CO2やごみの排出密度が高い、緑、オープンスペースが少ない
- 安全安心 治安（犯罪、交通事故）、防災（木造密集地域）
- コミュニティ 単身世帯比率：約6割（23区1位）、一人暮らし高齢者の割合47%

②データの課題

- 各所属ごとのデータ収集・蓄積
- 事業の評価にデータ活用がなされていない
- （全職員利用可能な）統計・分析ツールの認知度が低い

回答：茨城県

回答：桜川市

①地域・行政が抱える課題

②データの課題

- 現時点で具体的な課題・悩みは挙げられない。

自治体が抱える課題・悩み(5)

回答：栃木県

①地域・行政が抱える課題

②データの課題

■統合型GISの統合利用に関する課題

- 県土整備部その他、各部局ごとに独立したGISを運用しており統合利用でさらに利便性が向上すると考えられるが財政的に投資することが困難な状況

回答：伊奈町

①地域・行政が抱える課題

- 防災・減災・緊急情報（特別警報等）に関する情報提供・交換等体制やインフラの整備促進 など

②データの課題

- 紙台帳や二次利用できない形で保存されている電子データからのデータ作成（入力）
- 地理情報等、業務ごとに分散管理している（統合型GIS未導入）
- 公開につき可否判定、手法、データ項目・形式などを、個人情報保護・ユーザの利便性を含めどのような基準があり、また検討が進められているかをこのような機会にご教示いただければと考えています。

自治体が抱える課題・悩み(6)

回答：藤沢市

①地域・行政が抱える課題

■GISの導入に関する課題

- 道路管理業務に必要な台帳類を電子化しGISを導入する検討を進めているが、電子化する具体的な情報項目はまだ決まっていない。具体的な検討は今後進めるうえで、本イベントの内容を参考としたい。

②データの課題

■個人情報保護に関する課題

- 庁内で保有している地図データを公開した場合 個人情報にあたるものは慎重に取り扱う必要があることから 地図データの公開が進まないことがある。

回答：越谷市

①地域・行政が抱える課題

- 統合型GISを構築し、庁内のデータ集約の目途はたった。今後、産業振興の分野等に役立つデータを提供していきたいが、自治体が持つどのようなデータが価値を持つのか、企業や利用者の意見をいただきたい。

②データの課題

- 自治体が提供するデータの整合性は保証しなくてはならないのか。

自治体が抱える課題・悩み(7)

回答：水戸市

①地域・行政が抱える課題

■情報社会、IT化に関する理解度

- IT化が進んでいるといっても、地域社会ではパソコンなど利用できない市民も多い。
- 行政側でも、これらの取組みにより市民向けの行政サービスがどのように変わるのか、行政の内部業務にどのようなメリットが生じるのか理解できれおらず、行政－市民間の理解が進めば取組みもスムーズになるのではないか。

②データの課題

■データの洗い出しが必要

- 行政内にどのようなデータがあるのか、洗い出しができていないため、どのように公開するか、どのように活用するか全く議論が進んでいない。

自治体が抱える課題・悩み(8)

回答：八王子市

①地域・行政が抱える課題

● **少子高齢化**の影響は大都市のフリンジに位置する本市においては、早期に対応しなければいけない課題の一つである。**GIS等の活用により事象を的確に把握し、対応する必要**がある。

● オープンデータは、自治体の透明性、行政データの有効活用としては関心があり、進めるべきと考えるが、相手の主観（誤解）による、また故意に歪曲した解釈での利用及び**一般市民への風評流布、偏見拡散の防止に十分対応できるか**が、やや不安である。

● 外部にデータの複製を預けることにより、データの流通・利用を進める上で、**データ提供元が管理上留意すべき点**等をご提言頂きたい。また、貴協議会が留意している点をお教え頂きたい。

● **行政が持っているビッグデータの有用性についての認識が庁内で薄く**、データ整備や活用が進まない要因の一つと考えている。

②データの課題

● 都市計画や道路などのまちづくり関連部署及び税関連部署等において、GISデータはある程度蓄積されつつあるが、各部署で基幹システムが異なることから、データの融通がしにくい状況がみられる。**庁内の各部署間でプラットフォームの統一とデータ共有を図る必要**がある。

自治体が抱える課題・悩みに対する取組み(1)

- ◆自治体が抱える課題・悩みに対する現時点での取組みについて、本イベントに参加いただき自治体に回答いただいた。
- ◆なお、本イベントに参加いただき自治体は情報収集を目的としている自治体も多く、ここで回答いただいた自治体は取組みに対し先進的な自治体といえる。

御所属自治体で、データを使って地域や行政が抱える課題・悩みに対処されている事例がありましたらご紹介ください

回答：日野市

○地域・行政が抱える課題についてはGISによる分析を生かして事業者との調整が行えた事例があり、行政側の現状把握と共に行政課題を説明する資料としては非常に説得力のあるものになった。

○財政難から各部門で委託費等が削減される中、GISに対する図面の作成や分析等の依頼が多くなり、GIS導入効果や空間データの重要性に対する認識は高まった。

○一方で「難しいシステム」という印象があるためか、利用普及については今一つ伸び悩んでいる。

自治体が抱える課題・悩みに対する取組み(2)

回答：豊島区

- 公開型GIS「安全・安心マップ」やその中の「情報入力共有システム」を用いた、①行政情報の提供と②地域と一体となったセーフコミュニティ活動

回答：八王子市

- 都市計画マスタープラン等の地域計画の策定に当たり、土地利用状況及び人口分布、人口推計等に関する庁内データをGISで整理し、検討を行っている。

- 市では行政データの有効活用を推進しており、ICTの活用により効率的な行政サービスを提供するため、GISデータを含めた情報の行政における活用方法について、貴協議会の取組みを参考にさせていただきたい。